

令和 5 年度  
木の国・山の国県民会議  
各専門部会の取組状況

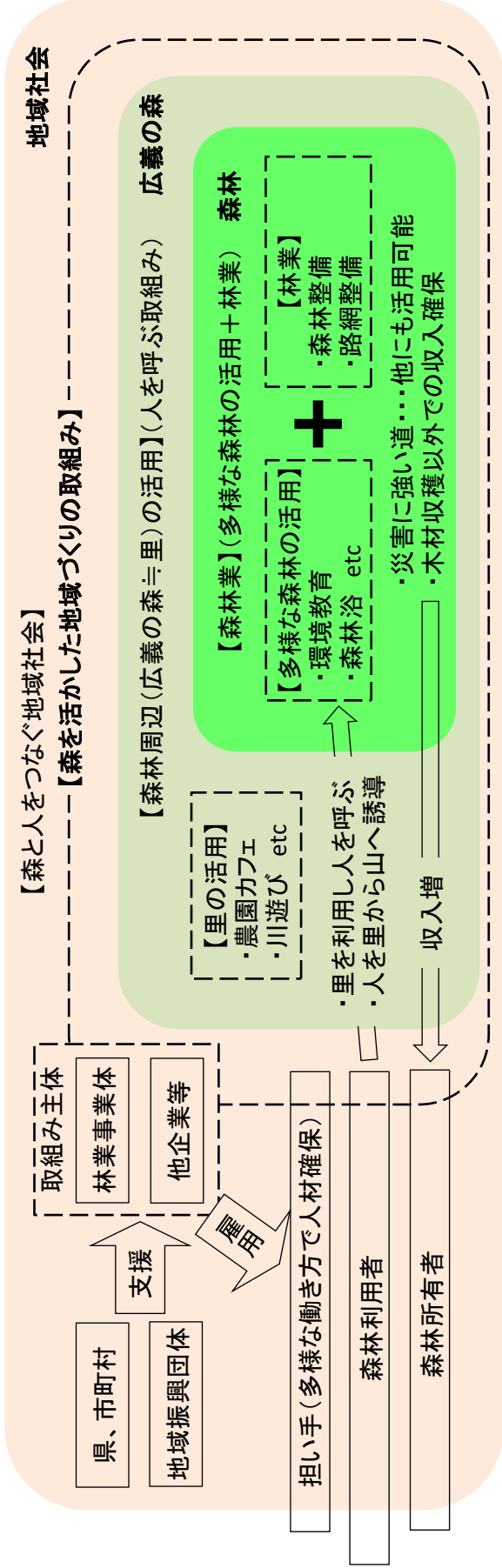
## 令和5年度専門部会の取組状況

部会名	森づくり部会	担当	森林経営課
部会長	篠田 成郎	担当	整備係
構成員 (所属名)	篠田 成郎 <部会長> (岐阜大学教授) 山川 弘保 <副部会長> (林業家) 大西 理恵 (有限会社大原林産取締役) 河野 美佐子 (一般財団法人岐阜県地域女性団体協議会副会長) 駒瀬 勉 (岐阜森林管理署長) 高橋 知樹 (一般社団法人岐阜県森林施業協会副会長) 長瀬 雅彦 ((一社)名古屋林業土木協会副会長、たかやま林業・建設業協同組合専務理事)		
今年度 計画	<b>1 令和5年度検討事項</b> ・森づくりに繋がる森林空間利用や地域の取組みを具体化する施策案の検討 <hr/> <b>2 検討事項の具体的取組</b> ・意見交換や現地検討会の実施		
実施 状況	<b>3 取組状況</b> <b>■第1回 (令和5年9月11日 (月))</b> ○令和5年度の検討テーマについて意見交換 ※オンライン併用開催 ・大学生による森林の持続的利用や地域活性化につながる検討事例や高山市宮・久々野地域での森林空間利用事例を参考に意見交換を実施 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <b>【主な意見】</b>            ・素材生産期間以外にも山で利益を生み出すことが森林所有者の意識向上につながるのではないかと。(森林所有者の意識低下が境界明確化の問題にも影響している。)            ・地域の会社を核として、地域の人たちが地域の資源を使い持続的な経営ができ、かつ、林業や地域に貢献できるような形が重要         </div> <b>■第2回 (令和5年11月13日 (月))</b> ○森づくりに繋がる森林空間等の利用や地域の取組み事例を現地視察 (郡上市内) ・e-BIKEを活用した森林活用等の取組み ((有)古川林業) ・農園等と連携した森林整備の取組み (こだらの杜 ((有)大原林産等)) <b>■第3回 (令和6年1月17日 (水)) ※オンライン併用開催</b> ○森づくり部会からの提言に関する意見交換 ・平成29年度の森づくり部会の提言(森林資源の循環利用を進めるため「新しい地域の組織」を設立し森林の一元管理体制を構築)に関する県内の取組状況を整理した資料等を参考に、本年度の提言に関する意見交換を実施 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <b>【主な意見】</b>            ・利益を伴う必要があるため、民主導で行政は指導、支援という形が望まれる。            ・森プロ(健全で豊かな森林づくりプロジェクト等)で、フォローアップ委員会が伴走型でコンサルティングした例が参考となる。         </div> <b>■第4回 (令和6年2月29日 (木)) ※オンライン併用開催</b> ○森づくり部会からの提言案に関する意見交換		
今後の 課題	<b>4 取組結果</b> ※別添資料のとおり <b>5 今後の課題</b> ○他部会と合同で部会を開催する等、部会の枠を超えた意見交換による提言内容の深化 ○提言内容を具体的に進めるための制度的課題等の検討		

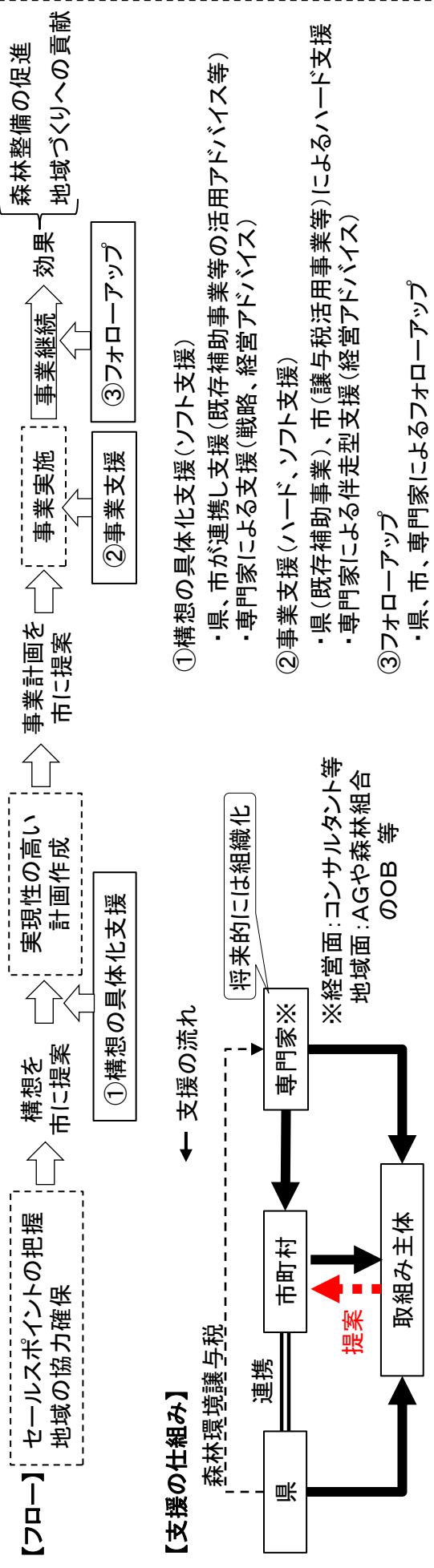
# 【令和5年度森づくり部会からの提言について】

令和5年度の取組み

提言：「森を活かした地域づくりの取組み」の推進



## (仮称)森活プロジェクト(上記を具体化するための支援の仕組み)



県林政部内で連携し取組みを推進

## 令和5年度専門部会の取組状況

部会名	木づかい部会	担当	県産材流通課
部会長	中島由紀子		木造建築推進室消費対策係
構成員 (所属名)	中島 由紀子 <部会長> (NPO法人グッドライフ・サポートセンター理事長) 桂川 麻里 <副部会長> (建築士) 石橋 明世 (ひだまりほーむ 株式会社鷺見製材 常務取締役) 岩井 香織 (公募委員) 河尻 和憲 ((一社)岐阜県林業経営者協会 副会長) 田口 房国 (株式会社山共 代表取締役社長) 田中 露美 (岐阜県生活学校連絡協議会 会長) 山川 弘保 (林業家・郡上市民病院 医師) 吉田 香央里 (ヤマガタヤ産業株式会社 取締役)		
今年度計画	<b>1 R5年度検討事項</b> ・新たな県産材の利用促進について		
	<b>2 検討事項の具体的取組み</b> ・木材利用に関する県民の理解を一層促進するため、都市部における県産材の普及啓発の手法等について意見をいただく。		
実施状況	<b>3 取組状況</b> <b>■第1回(令和5年10月12日(木))ぎふ森林文化センター 東濃桧ホール</b> ○「ぎふの木づかい施設」の認定について ○岐阜県木の国・山の国県産材利用推進計画について ○令和4年度の木づかい部会からの提案等を踏まえた県産材流通課の取組みについて ○今年度の木づかい部会の取組みについて  <b>【主な意見】</b> <「ぎふの木づかい施設」の認定について> ・ぎふ証明材の使用率(70%以上)という認定要件はわかりやすいが、意匠性や新規性という認定要件はだれがどのように判断するのか。 ・県産材を利用している建築物でありながら、今回の申請にあがっていないものがあり、制度の周知が必要である。 <岐阜県木の国・山の国県産材利用推進計画について> ・県民等への理解の醸成に関して、木の薄板を加工する職人が減っていると聞いているが、薄板を名刺やお肉の包装などに活用できるといいため、そういった職人への支援も検討していただきたい。 ・これまで木を使ってもらえたらありがたいという考えであったが、今後は木を使うことで脱炭素社会の実現に資することができ、世の中の役に立てるということを前端的にPRしていく必要があるのではないか。		
	<b>■第2回(令和6年2月13日(火))岐阜県庁20階 2003会議室</b> ○第1回内容の振り返り(ぎふの木づかい施設の認定に関する改正点)について ○今年度の木づかい部会の取組実績について ○岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に基づく取組実績について ○その他(令和6年度以降の木づかい部会の取組みについて)  <b>【主な意見】</b> <今年度木づかい部会の取組実績について> ・農業フェスティバルへの出展など県民向けの普及啓発イベントについて、コロナ禍のような状況にならない限り、継続的していただきたい。 <岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に基づく取組実績について> ・大規模木造施設を建築する場合、木材の調達ハードルの一つとなっており、木材調達の成功例や失敗例の情報を収集し、良好事例のスキームを他に広げていけるとよい。 ・県産材利用促進協定の締結について、今後は締結した協定をどのように実効性のあるものにしていくかが重要である。 ・炭素貯蔵量の認定について、「ぎふの木づかい施設」の認定に合わせて行うなど、申請をシンプルにできるとよいのではないか。		

	<p><b>4 取組結果</b></p> <p>&lt;都市部における県産材の普及啓発について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部における県産材の普及啓発のため、農業フェスティバルにおける県産材普及啓発ブースの出展方法等について「ぎふの木のおうちすごろく」の活用など提案をいただいた。農業フェスティバル2日間でブースへ約600名の来場者があり、効果的な取組みとなった。</li> </ul> <p>&lt;岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に基づく取組実績について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例に基づく取組実績に対し、今後の実施方法等について、協定に基づく取組の実効性の確保や、炭素貯蔵量の認定に係る申請方法等について提案をいただいた。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材を使用した11施設を「ぎふの木づかい施設」として認定したほか、認定要領の改正等について委員に諮り、了承をいただいた。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の課題</p>	<p><b>5 今後の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木づかい部会の設置から10年以上が経過しており、これまで様々な検討事項に取り組んできた。</li> <li>・現行の3部会でオーバーラップするテーマも増えてきていることから、今後は、「脱炭素社会の実現」等大きなテーマを設定し、各部会がそのテーマに対して検討事項を設定するなど、部会間で関連した取組みができるような仕組みづくりの検討も必要。</li> </ul>

## 令和5年度専門部会の取組状況

部会名	普及・教育部会	担当	森林活用推進課
部会長	伊藤 栄一		森林サービス産業支援係
構成員 (所属名)	伊藤 栄一 (NPO 法人森のなりわい研究所 代表理事) 石橋 明世 (ひだまりほーむ 株式会社鷺見製材 常務取締役) 桂川 麻里 (建築士) 加藤 正吾 (岐阜大学応用生物科学部准教授) 田中 露美 (岐阜県生活学校連絡協議会 会長) 中島 由紀子 (NPO 法人グッドライフ・サポートセンター理事長) 長瀬 雅彦 (一般社団法人名古屋林業土木協会 副会長 たかやま林業・建設業協同組合 専務理事) 中村 美雪 (岐阜県小中学校女性校長会長) 細川 正孝 (加子母森林組合 代表理事組合長)		
今年度計画	<b>1 令和5年度検討事項</b> 第1回「カーボン・クレジット(森林由来)を活用した企業との協働による森林づくりについて」 「ぎふ木遊館サテライト施設整備について」 第2回「「ぎふ木育」の全県展開について」 「森林サービス産業の実施状況について」		
	<b>2 検討事項の具体的取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>カーボン・クレジットを活用した企業との協働による森林づくりについて意見をいただく。</li> <li>ぎふ木遊館サテライト施設整備等のぎふ木育の全県的な展開に向けた取組みについて意見をいただく。</li> <li>県及びぎふ森のある暮らし推進協議会の森林サービス産業の取組みについて意見をいただく。</li> </ul>		
実施状況	<b>3 取組状況</b> <b>■第1回 (令和5年9月6日 (水))</b> 議題:「カーボン・クレジット(森林由来)を活用した企業との協働による森林づくりについて」 「ぎふ木遊館サテライト施設整備について」 (森林活用推進課) <b>【主な意見】</b> <b>「カーボン・クレジット(森林由来)を活用した企業との協働による森林づくりについて」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>CSRという視点のみでなく、ESG投資など本業に関わるものとして取り組む動きがある。</li> <li>カーボンクレジットなど、新しい取組みが山村地域の経済の存立に重要な要素になりつつあるため、うまく繋がりが循環するような形になるとよい。</li> <li>クレジットの活用を通して森林づくりへ参加する企業が増えることは社会の流れとしてあるが、直接現場に関わっていただく企業も増えてほしい。</li> </ul> <b>「ぎふ木遊館サテライト施設整備について」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川ならではの建物とフィールドを合わせた形で考えていただければよい。</li> <li>インタープリターがいることはとても大事。ぎふ木遊館が回っているのも、さとやまさんという「伝える人達」がいるというのが大きい。そのあたりを充実できるとよい。</li> <li>サテライト施設で体験した人が、近くのキャンプ場などで本物の自然に触れるようなつながりができるとよい。</li> </ul> <b>■第2回 (令和6年2月14日 (水))</b> 議題:「ぎふ木育の全県展開について」 「森林サービス産業の実施状況について」 (森林活用推進課) <b>【主な意見】</b> <b>「ぎふ木育の全県展開について」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サテライト施設やぎふ木遊館、morinos などそれぞれが別々にあるのではなく、「ぎふ木育」としてのくくりの中の施設であることを県民に理解してもらえると良い。</li> <li>学校に対する木育支援として、morinos のような形以外に、学校単位でカリキュラムとして動くものへの支援も必要だと思う。どのような支援方法が良いかを先々の課題として検討してもらえると良い。</li> </ul> <b>「森林サービス産業の実施状況について」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ森のある暮らし推進協議会」のように異業種が集まるとそれぞれ違う発想が出てくる。同じ会員ばかりが活動に参加するのではなく、様々なメンバーが活躍できると良い。</li> <li>協議会会員の中でも数が多いキャンプ場について、コロナ禍が明けて業績低下の兆しがみられる。今後はキャンプ中の森林での過ごし方の提案など、新たな方針を見定めることが大事だと思う。</li> </ul>		

<p>実 施 状 況</p>	<p><b>4 取組結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「カーボン・クレジット(森林由来)を活用した企業との協働による森林づくり」について課題を整理した。</li> <li>・ぎふ木遊館サテライト施設整備について提案を行った。</li> <li>・ぎふ木育の全県的な展開に向けた取組みへの提案を行った。</li> <li>・森林サービス産業の今後の展開について、提案を行った。</li> </ul>
<p>今 後 の 課 題</p>	<p><b>5 今後の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林由来カーボン・クレジットの購入や普及啓発に取り組む法人等がメリットを得られる制度の検討</li> <li>・「ぎふ木育」の全県展開に向けた木育拠点施設の連携の検討</li> <li>・複数の事業者での県内森林サービス産業の新たな連携の検討</li> </ul>